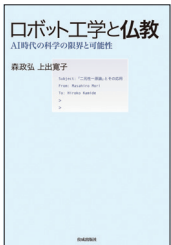


## 高機能生成AIは著作権の夢をみるか？ 最新動向を展望。

生成AIの急速な発展により、AIをめぐる著作権制度のあり方にかつてないほど大きな注目が集まっている。権利保護と利用促進のバランスが問われるなか、最先端の問題状況について地に足のついた議論を深めるべく、本分野に精通した専門家たちが徹底考察。

AIと著作権  
上野達弘、奥邨弘司：編著 勁草書房  
A5判並製 352頁 2024年2月刊 ISBN:9784326404353 3,300円



## 科学者が仏教を学ぶ意味とは？ ——その答えがここにある！

心理学者・上出寛子氏が、ロボット工学の世界的研究者で仏教にも造詣の深い森政弘氏と出会い、仏教哲学を学び体得する過程をまとめた一冊。AIの技術開発が「心・欲望・悟り」の領域に入りこむ現代だからこそ、理系の研究者や技術者、学生に読んでほしい仏教哲学入門書。

ロボット工学と仏教——AI時代の科学の限界と可能性  
森 政弘、上出寛子：著 佼成出版社  
四六判並製 512頁 2018年6月刊 ISBN:9784333027842 2,640円



## コンバインからワクチンまで…… 世界を変えた発明発見を紹介

社会や文化、産業や医療などの分野で歴史的な画期となったテクノロジーを厳選。科学技術の歴史を知ること、より高度な次世代のテクノロジーを生み出す素地としても不可欠！ 超レアで鮮明な写真満載。アートとサイエンスを同時に堪能できる一冊。大型本。

ビジュアルスタディ 世界を変えた発明発見  
ジャンニ・モレツリ：編 熊谷玲美：訳 すばる舎  
29cm×24cm上製 224頁 2020年8月刊 ISBN:9784799108833 4,180円

\* 価格は10%税込、2025年3月のものです。

## …………… 出版社クイズ ……………

なんていう名前の出版社かわかりますか？

- ① 1987年に市ヶ谷にて『国際ビジネス法ハンドブック』でスタート。引っ越しが大好き出版社。その頻度は市ヶ谷付近だけで37年に6回。理由は「飽きたから」（諸説あり）
- ② 法経書を主に刊行を重ねるが、2000年前後から企画の流れが一気に変わり、一般書で10万部を連発。2018年に事業承継のため、グループ会社に参入。現在の社長はその会社との兼任。これまでの流れを引き受ける。
- ③ 社長の信条は「あなたの未来につながる羅針盤」。社員が社会の動きをどう見ているかを注視。結果として「こういう本が必要になる」が導き出せるという。
- ④ 社長の趣味はバスクラリネット。演奏会に年5、6回出演する。楽器を始めたきっかけは「中学時代の憧れの先輩に勧められて」。

\*クイズの答えは次号(25号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

## 前号のクイズのお答え

### 研究成果の結晶を書籍に託して 風間書房

1933年 早稲田にて出版並びに書籍販売業にて発足、戦後神田神保町に移転、人文・社会科学を中心に学術図書を刊行しています。『日本歌学大系(全20冊)』『私家集全積叢書(既刊41冊)』をはじめとする日本文学や、『産業教育史学研究(全13冊)』『マイクロカウンセリング技法』などの教育学・心理学を軸に、学界に寄与することを理念としています。先生方の長年の研究成果を世に出し、教育の進展と学術文化の発展のためにお役にたてるよう100周年を目指して堅実に歩んでいきたいと思っています。



# 梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上してくれるお宝本を、こっそりお教えします

生成AIが  
世界のさまざまな局面で  
話題になっています。

今回の特集は

## 「テクノロジーとわたしたち」

テクノロジーが人の生活や社会を  
どう変えてきたか、変えていくのか、  
考えてみます。



24号(2025年3月)  
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





## 現代社会を動かす技術への最高のガイド

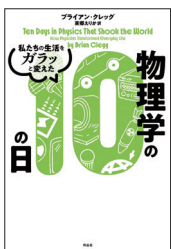
見やすいイラストで機械の中身を解きほぐし、その働きを一つひとつ解説。基本的な機械や電気、デジタル技術の解説をはじめ、家庭、輸送、コンピューターの

技術など、使われている場面や分野ごとに様々なテクノロジーを紹介。

ひと目でわかる テクノロジーのしくみとはたらき図鑑

村上雅人、小林 忍:監修 東辻賢治郎:訳 創元社

A4変型判上製 256頁 2020年9月刊 ISBN:9784422400488 3,080 円



## ブレイクスルーを生み出した「日付」で振り返る科学の歴史

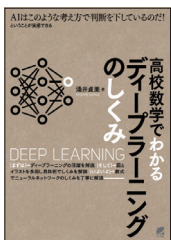
エアコンから、飛行機、インターネット、スマホまで、身の回りの便利なモノは全て、過去の誰かによる発見や発明があった「その日」が無ければ存在しなかった。

歴史上の10の日付に注目したちょっと珍しい科学史。次の「11日目」はいつかを考えてみるのも楽しい。

私たちの生活をガラッと変えた物理学の10の日

ブライアン・クレッグ:著 東郷えりか:訳 作品社

四六判並製 256頁 2023年8月刊 ISBN:9784861829918 2,640円



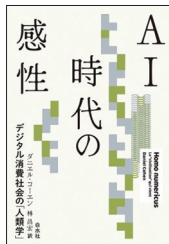
## ディープラーニングのしくみが高校レベルの数学でわかる

細かい数学的な議論をしなければ、ディープラーニングの原理はそれほど難しいものではありません。AI時代の扉を開いた「ディープラーニング」について、そのしくみと考え方を、図を多用し、高校レベルの数学の知識で十分わかるように解説しました。

高校数学でわかるディープラーニングのしくみ

涌井貞美:著 ベレ出版

A5判並製 304頁 2019年12月刊 ISBN:9784860646028 2,420 円



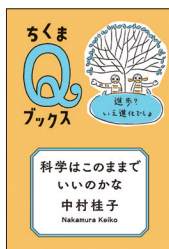
## SNS依存社会で数値化される「個性」

ハイパー資本主義の SNS 依存社会で数値化される「個性」とは？ より創造的に対話するために必要なのは？ DX とともに「自己同一性」の揺らぎが認められる時代、デジタルには生成しえない感情の重要性を説く、コーエンによるデジタル消費社会の「人類学」。

AI時代の感性 —— デジタル消費社会の「人類学」

ダニエル・コーエン:著 林昌宏:訳 白水社

四六判並製 230頁 2023年9月刊 ISBN:9784560093726 2,640円



## 科学の力で時短・便利・節約！ それってほんとに幸せかな？

テクノロジーで生活は便利になった。でも機械ばかりか私たちにまで効率や結果を求められるのは息苦しいね。だって私たちは生きもので、自然はかならずしも思い通りにならないものだから。38億年つづいてきた「進化」を軸に、生きもの目線で未来を考えよう。

ちくまQボックス 科学はこのままでいいのかな —— 進歩？ いえ進化でしょ

中村桂子:著 筑摩書房

四六判並製 128頁 2022年9月刊 ISBN:9784480251404 1,210円



## 「カワセミ」が新幹線に! 「葉っぱ」が太陽電池に!?

生物の世界には驚きがいっぱい。「ミミックメーカー」とは、生物の優れたところをまねて新しいテクノロジーを発明するひとたちのこと。世界中から10人の「ミミックメーカー」を紹介します。どの人もすばらしいアイデアを集めています。知りたくないですか？

すごい！ミミックメーカー —— 生き物をヒントに世界を変えた発明家たち

竹内 薫:監修 西村書店

A4変型判上製 46頁 2023年7月刊 ISBN:9784867060469 1,980 円



## 世界観の変わり方を語ることで世界を変えた本。

多くの方が、「パラダイム」という言葉を日常的に使います。その「パラダイム」という言葉を、初めて使ったのが本書です。コペルニクスからボーアまでの科学の歴史に新しい展望を与え、科学者に、自然に対する問い方と答え方の手本を与える名著、新訳。

科学革命の構造【新版】

トマス・S・クーン:著 青木 薫:訳 イアン・ハッキング:序説 みすず書房

四六変型判上製 392頁 2023年6月刊 ISBN:9784622096122 3,300円



## 開発の中で組み込まれてきた「白人性のイデオロギー」とは

これまで人種・ジェンダー・階級に関する差別が起こらないよう「よりよいAIの利用」が議論されてきたが、それは結果的にAIのイデオロギーを強化していく——。AIをめぐる帝国主義的・資本主義的プロジェクトから逃れる道はあるのか。AIの倫理性を問う。

AIと白人至上主義 —— 人工知能をめぐるイデオロギー

ヤーデン・カツツ:著 庭田よう子:訳 左右社

四六判並製 408頁 2022年11月刊 ISBN:9784865283488 4,400円



## 医・食・住からベンチャーまでくらしの中の生物多様性

微生物の力でできた医薬品、生物の機能を学び活かすバイオミメティクスなど、くらしの中には生物多様性の恩恵がいっぱい。生物多様性の視点から私たちの生活や社会を見つめ直し、将来を考える科学エッセイ。心を満たす持続可能な価値観を提案する。

とんりの生物多様性 —— 医・食・住からベンチャーまで

宮下 直:著 工作舎

四六判並製 184頁 2016年8月刊 ISBN:9784875024750 2,090円



ゆきもよ

雪催いの夜は純米「雪男」のお燗一杯でシアワセ♡

雪男伝説って各地にあるらしいよ。ヒマラヤの未確認生物イエティは、じつはヒグマだった説も。

